

1 - 4 「草原景観保全事業（草小積み景観再生事業）」実施報告

かつては、毎年刈り干し切りの行われる秋になると、草原のあちこちに草小積みが作られたが、採草する人の減少や大型機械の導入などにより、また現在では採草してもトラックで持ち帰ることが多く、作る人は少なくなっている。

秋から冬にかけて、草原に草小積みがならぶ景観は、阿蘇ならではのものであり、観光資源としても重要であることから、環境省ではJA阿蘇の協力を得て、草小積みを再現する事業を行った。

実施場所：ミルクロード、やまなみハイウェー、国道265号箱石峠までの沿線道路から見える場所

6牧野が作業に参加

事業実施により、H16年11月末には沿道に約160個の草小積みが登場、観光客や道路利用者の目を楽しませた。また、小積んだ草の一部は、農家自身の堆肥づくりに使われたり、草の流通に関する検討を進めるNPO法人九州バイオマスフォーラムに買い取られたりした。



・やまなみハイウェイ沿いに再現した草小積み